

2021 年 10 月 5 日

報道関係者各位

加賀電子株式会社

VFR 株式会社への出資に関するお知らせ

～事業面での支援によりドローン市場の拡大に寄与～

加賀電子株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:門 良一、以下「当社」）はドローン等無人航空機の企画、製造、販売等を行う VFR 株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯浅浩一郎、以下「VFR」）へ出資し、資本参加しましたのでお知らせいたします。

記

1. VFR の業務内容とドローンの運用ルールについて

VFR は、高性能・高品質の PC メーカーである VAIO 株式会社の子会社として 2020 年 3 月に設立され、同社が PC 事業で培った高度な設計・製造技術や国内外のサプライチェーンマネジメント能力等をドローンにおいて有効活用し、可用性およびコストパフォーマンスが高い機体、コンポーネント、及び関連ソリューションを提供しています。

国内では、すでに様々な用途でドローンの利活用が見られますが、あくまで目視内活用（レベル 1～2）や山間部等無人地帯での目視外利用（レベル 3）に限定されています。現在、有人地帯（都市を含む地域）における補助者なし目視外飛行（レベル 4）実現のための航空法改正の議論が進んでおり、このレベル 4 の開放によって、都市部での物流や点検、防災など、さらに幅広い用途でドローンの社会実装が期待されています。

<参考：改正航空法によるドローン等無人航空機の飛行レベル>

レベル 4	有人地帯（第三者上空）での目視外飛行（補助者の配置なし）	市街地などを含めたエリアにおいて目の届かない範囲まで飛行する形態を指す。（例）都市の物流や警備、発災直後の救助、避難誘導、消火活動の支援、都市部におけるインフラ点検など
レベル 3	無人地帯での目視外飛行（補助者の配置なし）	住民や歩行者らがいないエリアにおいて目の届かない範囲まで飛行する形態を指す。（例）離島や山間部への荷物配送、被災状況の調査、行方不明者の捜索、長大なインフラの点検など
レベル 2	目視内飛行（操縦無し）	見える範囲で自動運転機能を活用した飛行を行うものを指す。（例）空中写真測量やソーラーパネルの設備点検など
レベル 1	目視内・操縦飛行	見える範囲で手動操作する一般的なドローン利用の形態を指す。（例）農薬散布や映像コンテンツのための空撮、橋梁や送電線といったインフラ点検など

2. 出資先の会社概要

- 1)会社名 : VFR 株式会社 ([URL: https://vfr.co.jp/](https://vfr.co.jp/))
- 2)代表者 : 代表取締役社長 湯浅 浩一郎
- 3)本拠地 : 東京都千代田区丸の内 2 丁目 2 番 1 号
- 4)設立 : 2020 年 3 月
- 5)事業内容 : ドローン等無人航空機及び付随するソフトウェアの企画、設計、製造、販売等

当社は、「すべてはお客様のために」の経営理念のもと、エレクトロニクスの総合商社として、電子デバイスの 企画・設計、部品調達、生産、販売など多様な局面で顧客にとって最適な解決策を提供しています。

創立 50 周年を迎えた 2018 年 3 月期より、総投資枠 50 億円の CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）を設定、ユニークな技術・製品やビジネスモデルを構想・展開するベンチャー企業への少額出資を通じて新たなイノベーションを創出し、次代に向けた当社グループの持続的成長に資する新規事業創出につなげる仕込みを行っています。

当社は、今般の VFR への出資を通じて、これまで培ってきた部品調達力、製造技術力、販売力をもって VFR を事業面から支援し、社会インフラとなりつつあるドローン市場の拡大に寄与して参ります。

■報道機関からのお問い合わせ

加賀電子株式会社 (<https://www.taxan.co.jp/>)

IR・広報課長 稲垣 康弘

〒101-8629 千代田区神田松永町 20 番地

TEL 03-5657-0106 / FAX 03-3254-7133